

## 「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2025 年日本平和大会 in 愛知」

### 成功の取組みの呼びかけ(第 2 次)

2025 年 7 月 31 日 2025 年日本平和大会第 6 回実行委員会

「なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2025 年日本平和大会 in 愛知」(10 月 25, 26 日) が迫ってきました。この大会に向けて、草の根から平和の世論と運動を広げ、多数の参加者を結集し、戦後・被爆 80 年の節目と激動の情勢にふさわしい大会として成功させましょう。

7 月の参議院選挙では、生活を破壊する自公政権に対し広範な市民が厳しい審判を下し、自公与党は衆参両院で過半数を割る結果となりました。沖縄で、米軍新基地建設や軍事要塞化に反対する「オール沖縄」の候補が勝利したことも重要です。同時に、憲法改悪・軍事同盟強化・大軍拡路線で与党と共通する補完勢力や外国人を敵視する排外主義的な野党が伸び、参議院で改憲勢力が 3 分の 2 を占めたことは重大です。いま私たちは、自民党政治を終わらせて憲法を活かす道に転換するのか、自民党政治を延命させて暮らしと憲法を破壊する大軍拡、差別と分断・排外主義の道を歩むのかの、重大な岐路に立っています。

自公政権は、日米軍事同盟絶対の立場から、トランプ政権のイラン核施設への無法な先制攻撃を容認し、同政権の振りかざす一方的な関税引き上げに屈服し、数千億円もの米製兵器の購入や農産物輸入拡大を約束。トランプ政権は、日本に軍事費の GDP3.5% (20 兆円) ~ 5% (30 兆円規模) への拡大を要求しています。大軍拡路線の下で憲法違反の「敵地攻撃能力」= 長射程ミサイルの今年度中の配備がねらわれています。この大軍拡は米国の「拡大抑止」(核兵器使用) 態勢の強化と一体です。日米同盟強化の立場に立つ一部の野党も、大軍拡・拡大抑止強化に賛成し、核共有や核武装を唱える勢力さえあります。この道はアジアの緊張を激化させ、核戦争の危険をも生み出すものです。

大軍拡が生活関連予算を圧迫・削減し、市民生活は悲鳴を上げています。物価高騰が追い打ちをかけ生活が苦しい中、労働者に低賃金と不安定雇用を強い、学校の統廃合や教職員の不足による長時間労働、診療・介護報酬の削減による病院や介護事業所の相次ぐ倒産など、あってはならないことが起きています。いまこそ、私たちがこうした背景にある日米軍事同盟強化・大軍拡の危険性を知らせ、憲法に基づく平和外交の道にこそ平和と暮らしを守る展望があることを、学び、語り、広げることが求められています。その運動を広げるのが 2025 年日本平和大会です。

平和大会に向けて、大軍拡・戦争国家の道の危険性を知らせる学習パンフレットを大普及・大活用し、学習運動を全国津々浦々で巻き起こしましょう。諸団体で力を合わせて、各分野や地域で起こっている「戦争の準備」の動きを告発し、反対の世論を広げる学習会や地域での平和大会を開きましょう。核兵器禁止条約への参加を求める署名や大軍拡反対署名、武器輸出禁止署名や自衛隊への名簿提供反対署名などを広げましょう。多彩なテーマで学ぶプレ企画や、10 月 4 日のオンライン国際シンポジウム「いまこそ軍事同盟 NO! 核兵器のない国連憲章に基づく平和秩序を」への視聴の輪を広げましょう。こうした運動と結び、大会へ、青年はじめ多数の代表を送り出し、学び、交流し、さらに運動を発展させましょう。

開催地・愛知県では、「ふるさとを『死の商人』の拠点から平和の拠点へ」と、軍需産業や武器輸出に反対する学習会や署名運動などが精力的に取り組まれています。青年、自治体、教育、医療、保育など様々な分野の団体・個人が力を合わせ、創意的な「学びと交流の集い～愛知から見る平和の今～」を準備しています。被爆・空襲体験もしっかりと胸に刻みながら、平和な日本とアジアをどうつくっていったらいいのか、軍事同盟から脱却した平和な日本をどうつくっていくのかを学び、交流する 2025 年日本平和大会 in 愛知を、各団体、全国の力を合わせ、大きく成功させましょう。